

健 保 ニ ュ ー ス



JEOLグループ卓球大会

いよいよ準備開始!

「特定健診・ 特定保健指導」



医療制度改革については何回か健保ニュースで紹介していますが、いよいよ仕上げとも言うべき平成20年4月の改革。保険者による「40歳以上の加入者の特定健診・特定保健指導」への準備を開始する時期となりました。昨年度は全国の健康保険組合が情報収集のために明け暮れましたが、ようやく国の目標値が決定されました。

国は平成24年度における特定健診受診率・特定保健指導実施率そしてメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少率について目標値を示し、健康保険組合をはじめとする医療保険者はそれを参考に20年度から5年間の実施計画を作成します。

- 1. 特定健康診査の実施率を80%以上にする
- 2. 特定保健指導の実施率を45%以上にする
- 3. 平成20年度と比較したメタボリックシンドロームの該当者および予備群の減少率を10%以上とする

今後はこの実施計画の達成度合いにより、25年度から新たな高齢者医療制度（3ページ参照）への支援金額が、10%以内で増額もしくは減額される措置が実施されることになっていきます。支援金の増減は、健康保険料率に大きな影響を及ぼす可能性がありますので、目標値（特に3項）をクリアすることが重要となります。

そのためにもこの一年は、健康保険組合にとって大変重要で貴重な準備の年となります。今後も健康維持・増進のお手伝いをさせていただきますが、組合員の皆様におかれましては、日頃よりウォーキング等の運動により生活習慣病の予防を心掛けていただくようお願い申し上げます。

平成18年度 事業報告 決算

経常収支7179万円の赤字
介護勘定1154万円の黒字

●財政状況

18年度は予算編成段階から赤字が想定されてきました。その最大の理由は拠出金です。拠出金が前年度より1億1229万円も増えています。拠出金はちよつとした数値の変化で乱高下する性質をもち、たまたま高騰する年にあたってしまいました。

将来に対して心配な状況も発生しています。それは、17年度に約4600万円も増えた保険給付費が、18年度もほぼそのままの支出額となったことです。16年度並の保険給付費予算を組んでいたのに、予備費を充当しても不足することが明白になり、急遽1000万円の予算追加を行いました。高額な医療費を必要とする病気に罹る人が増えています。高齢化の波が当組合にも押し寄せているといえます。

この結果、経常収支で7179万円の赤字となりました。赤字となったのは、平成12年度以来6年ぶりのことです。

介護勘定はほぼ予算どおりの決算となり、1154万円の黒字となりました。決算数値に関する詳細は、別表を参照ください。

6年ぶりの赤字決算、 事業計画は全て実施

去る7月5日に開催した第107回組合において、日本電子健康保険組合の平成18年度事業報告および収入支出決算が認定されました。経常収支では7179万円の経常赤字となりました。赤字となったのは平成12年度以来6年ぶりです。また介護勘定では1154万円の残金を計上しました。事業計画は新規事業も含め、全て実施いたしました。

●事業運営

18年度も、事業計画に盛り込んだ事業は全て実施しました。

昨年6月に国会で成立した医療制度改革関連法により、18年10月に施行された改革は円滑に実務に反映させ、19年4月施行分の準備も滞りなく完了させました。

組合員の健康維持・増進のために取り組んでいる保健事業は、従来のものに加えて、新たに次の事業に取り組みました。

- ①インフルエンザ予防接種
 - ②メンタルヘルスカウンセリング
(事業主と共同で導入)
 - ③設立40周年記念ソフトボール大会
(事業主と共催)
 - ④東急ハーヴェストと保養所契約
また、ホームページの充実を図り、組合員へのサービス向上に努めました。
- 今後、組合員の皆様の健康づくりに貢献する事業を展開していきます。

一般勘定

平成18年度 収入支出決算概要表

収入			
科 目	決算額	前年度決算額	増減
健康保険収入	1,300,546	1,308,257	△7,711
保険料	1,299,799	1,307,472	△7,673
国庫負担金収入	747	785	△38
徴収金	0	0	0
調整保険料※	25,858	25,202	656
繰入金	70,000	0	70,000
退職積立金繰入	0	0	0
別途積立金繰入※	70,000	0	70,000
国庫補助金収入※	0	0	0
財政調整事業交付金※	19,676	16,983	2,693
雑収入	6,902	7,445	△543
利子収入	262	221	41
施設利用料	4,678	4,542	136
高額・貸付回収金	90	0	90
その他	1,872	2,682	△810
収入合計	1,422,982	1,357,887	65,095
経常収入(※を除く)	1,307,448	1,315,702	△8,254

支出			
科 目	決算額	前年度決算額	増減
事務所費	58,488	60,010	△1,522
組合会費	233	481	△248
保険給付費	663,457	664,971	△1,514
法定給付費	637,374	637,936	△562
付加給付費	26,083	27,035	△952
拠出金	545,995	433,705	112,290
老人保健拠出金	302,663	208,800	93,863
退職者給付拠出金	243,332	224,905	18,427
保健事業費	109,777	109,116	661
還付金	326	147	179
財政調整事業拠出金※	25,762	24,986	776
連合会費	667	717	△50
積立金	0	3,000	△3,000
雑支出	299	329	△30
予備費	0	0	0
支出合計	1,405,004	1,297,462	107,542
経常支出(※を除く)	1,379,242	1,272,476	106,766

収支差			
科 目	決算額	前年度決算額	増減
経常収支差額	△71,794	43,226	△115,020

来年4月から

健康保険が大きく変わります

昨年6月の通常国会で、「健康保険法等改正案」および「良質な医療を提供する体制の確立を図るための医療法等改正案」を柱とする医療制度改革関連法が成立しました。

改革の内容は多岐にわたりますが、健康保険組合に関係する改革は、第1段階（平成18年10月施行）、第2段階（平成19年4月施行）、第3段階（平成20年4月施行）に分けて行われています。既に実施済の第1段階と第2段階は小規模な改革です。大改革といえるのは第3段階です。今号では、その第3段階の概要について解説します。

◆新たな高齢者医療制度の創設

第3段階の大きな改革の1つがこれです。

75歳以上の高齢者を対象とした、独立した医療制度が創設されます。そして、現在の老人医療制度は廃止されます。

これにより、75歳以上の国民は、それまで加入していた健康保険や国民健康保険から抜けて、新制度に移ることになります。独立した制度ですので、高齢者も保険料を払います。しかし、それだけでは高齢者の医療費を賄いきれませんが、公費や現役世代からの支援も行います。

あわせて、65～74歳の人の医療費も、医療保険者（健保組合・国民健康保険等）同士で、その負担を調整する制度も発足します。

これらの支援や調整の額が、従来の拠出金と比較して割安になるのか、割高になるのか、財政面から大変気になるところです。

◆健診・保健指導の義務付け

第3段階のもう1つの大きな改革がこれです。

生活習慣病予防の徹底を図るため、40～74歳の社員・家族全員に健診・保健指導を実施することが、医療保険者に義務付けられます。

その内容は、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目し、健診結果をもとに、医師・保健師・管理栄養士等が、生活習慣の改善に関する動機づけを行い、該当者自らの意思で行動変容に結びつけるというものです。

詳しくは前号（健保ニュース163号）で解説していますので、参照ください。

◆乳幼児の自己負担軽減の拡大

これは少子化対策の一環として行われるものです。

現在3歳未満の乳幼児の医療費自己負担は2割です。これが義務教育就学前までに拡大されます。義務教育就学前とは、6歳の3月31日までです。つまり、小学校に入学する前日までとなります。

◆70～74歳の医療費自己負担の引き上げ

現在では70～74歳の高齢者は、医療費の1割（所得によっては3割）を負担しています。これが2割（所得によっては3割）に引き上げられます。

◆健康保険料を基本保険料と特定保険料に区分

健康保険組合の事業に使う保険料と、拠出するための保険料を分けようとするものです。

医療費の支払いや保健事業等に充てるための保険料を基本保険料と呼びます。一方、高齢者の支援金や財政調整に充てる保険料を特定保険料と呼びます。実務では、この2つを合算した保険料を皆さんから徴収することになると考えられます。これによって、当組合の健康保険料率1000分の64が、上がるのか下がるのかも気になるところです。

以上が来年4月施行の主な改革ですが、実施面ではまだ明らかでないことも多く残されています。

財産目録

(単位:千円)

種別	今年度末	前年度末	増減
法定準備金	310,000	310,000	0
別途積立金	403,517	455,676	△52,159
退職積立金	41,000	41,000	0
土地	49,800	49,800	0
建物	34,135	35,325	△1,190
その他	2,586	2,880	△294
介護準備金	38,000	27,000	11,000
合計	879,038	921,681	△42,643

決算基礎数値

一般勘定

項目	決算数値	前年度数値	増減
平均被保険者数	3,095人	3,106人	△11人
男	2,626人	2,641人	△15人
女	469人	465人	4人
被扶養者数	3,495人	3,535人	△40人
扶養率	1.13	1.15	△0.02
被保険者平均年齢	42.60歳	42.54歳	0.06歳
平均標準報酬月額	474,156円	463,941円	10,215円
平均標準賞与額	1,037,747円	1,150,772円	△113,025円
保険料率	64/1000	64/1000	0/1000
事業主	36/1000	36/1000	0/1000
被保険者	28/1000	28/1000	0/1000

介護勘定

収入

(単位:千円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
介護保険収入	130,753	131,211	△458
繰越金	3,248	4,897	△1,649
雑収入	5	3	2
収入合計	134,006	136,111	△2,105

支出

(単位:千円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
介護納付金	122,420	122,840	△420
介護保険料還付金	51	23	28
積立金	0	0	0
支出合計	122,471	122,863	△392

収支差

(単位:千円)

科目	決算額	前年度決算額	増減
収支差額	11,535	13,248	△1,713

介護勘定

項目	決算数値	前年度数値	増減
平均第2号被保険者数	2,573人	2,575人	△2人
本家族	1,649人	1,637人	12人
家族	924人	938人	△14人
平均標準報酬月額	585,078円	571,320円	13,758円
平均標準賞与額	947,159円	1,164,068円	△216,909円
保険料率	10.0/1000	10.0/1000	0/1000
事業主	5.0/1000	5.0/1000	0/1000
被保険者	5.0/1000	5.0/1000	0/1000

UEOリーグ卓球大会を共催

昨年度は当組合設立40周年記念事業として、母体事業所と共同でソフトボール大会を開催しました。今年は3号館増設工事の関係でグラウンドが使えないこともあり、屋内で実施できる卓球大会を、母体事業所に協力して開催しました。

大会は31チームが参加し、6月13日から熱戦を繰り広げ、6月27日の決勝戦にて終了しました。大会運営に尽力をいただいた、同好会事務局、卓球部、水曜会、火曜会、翔躍会の皆様に感謝いたします。

◆大会の結果は次のとおりでした。

- 優勝 日本電子データムーAチーム
- 準優勝 電子光学機器本部ーAチーム
- 3位 生産本部ーBチーム
- 分析機器本部ーAチーム
- 特別賞 日本電子アクティブーAチーム
- 共技本部／知財室／開発本部チーム
- 半導体機器生産・SVC本部ーAチーム



優勝の日本電子データムーAチーム

内部監査を実施

健康保険組合は、組合会で決算を認定する前に、監事による内部監査を受けることが義務付けられています。

去る6月5日(火)全一日をかけて、鈴木孝治監事・小林政春監事により、組合事務全般にわたる監査を受けました。その結果両監事から「組合運営は「規則に従い正しく運営されており、事務執行は「規則に基づき正しく処理されており、その評価を得ました。」



今年度も超音波検診を実施しました

東京地区勤務者を対象にした超音波検診を、昭島地区で7月3・4日、立川で7月9日に実施しました。この検診は腹部臓器の疾病の早期発見・早期治療を目的に、平成14年度から希望者に対して毎年実施しています。

今年度は男性343人、女性147人が検診を受けました。

ウォーキングマイレージ®実施中

日本電子健康保険組合がウォーキング運動に初めて取り組んだのは平成5年度でした。その当時は「ウォーキングがスポーツ」という時代でしたが、今や立派な健康スポーツとして認知されています。

そこで、今年度からウォーキング運動をバージョンアップして「ウォーキングマイレージ」として実施することになりました。従来は秋季に期間を定めて実施する方式でしたが、ウォーキングマイレージは年間を通して常時実施しています。そして、累計歩数に応じて記念品と交換できる仕組みです。

去る5月7日から開始して以来、6月末までに869名の参加申込みがありました。常時実施とは、いつからでも参加できるということです。まだ参加していない人も、今からウォーキングマイレージにお申込みください。案内書・申込書は当組合のホームページからプリントアウトできます。

「ウォーキングマイレージ」は株式会社マイチエムアイが所有する商標であり、今回のウォーキング運動に限り使用を許諾されたものです。



公告 第268号 事業所の合併

当組合の加入事業所が合併して新事業所として発足しましたので、左記のとおり公告します。

記

- 〔旧事業所名〕 さつき工業株式会社
たちばな電子株式会社
- 〔新事業所名〕 日本電子ファイナテック株式会社
- 〔変更期日〕 平成19年7月1日
- 〔変更理由〕 合併による

組合の現勢 (平成19年6月末現在)

一般保険	介護保険
被保険者数 3,149名 (男子2,673名 女子476名)	該当被保険者数 1,670名 (男子1,513名 女子157名)
被扶養者数 3,454名 (男子1,075名 女子2,379名)	該当被扶養者数 911名 (男子0名 女子911名)
平均標準報酬月額 474,009円 (男子508,490円 女子280,378円)	平均標準報酬月額 593,126円 (男子624,003円 女子295,567円)
被保険者平均年齢 42.26歳 (男子43.26歳 女子36.66歳)	

編集後記

去年のソフトボール大会に続いて、今年は卓球大会を事業主と共催しました。愛ちゃんをはじめとする若手選手の台頭で人気上昇の卓球とあって、多くの参加者による白熱した試合が繰り広げられました。室内競技なので、天候を気にすることなく日程を組めたのは、事務局としては助かりました。(事務局)